

令和2年7月2日
戦略企画部企画課
総務部財政課

令和3年度重点取組について（案）

1. 目的

- (1) 特定政策課題の解決や、施策の目標達成に大きく貢献するよう、行政経営資源の効果的・効率的な重点配分を行うこと。
- (2) 知事が政策集に掲げた優先課題や突発的な事象、新たな課題に対応すること。

2. 基本的な考え方

- (1) 重点取組は、県の限られた行政経営資源を優先的に配分する仕組みである。
- (2) 選定された重点取組は、「令和3年度三重県経営方針」に位置付ける。
- (3) 事業の構築にあたっては、「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」における施策展開の拠り所である「Society 5.0」又は「SDGs」の視点を積極的に取り入れるものとする。
- (4) 第2期「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進の観点から、地方創生推進交付金の活用を検討する。
- (5) 中長期的な視点を見据えた、種まきとなるような取組も検討する。
- (6) 公共事業については、昨年度と同様、重点取組として取り扱わない。

3. テーマ設定について

令和3年度の重点取組については、新型コロナウイルス感染症対策が新たなフェーズに入った中で、「みえ県民カビジョン・第三次行動計画」が掲げる「三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会」の実現に向けた取組を加速させるため、次のとおり3つのテーマを設定する。

(1) コロナがもたらした「新たな日常」への対応

新型コロナウイルス感染症がもたらした社会の変化や人々の行動変容をふまえ、「みえモデル」の具体化やさらなる発展を図るものなど、「新たな日常」に対応し、未来に向けて成長、進化していくための取組で、令和3年度に県として取り組むことが真に必要なものとする。

(2) 人口減少への対応（地方創生の実現）

新型コロナウイルスの感染拡大により人口集中のリスクが顕在化したことをふまえ、地方部と大都市部がともに輝く地方創生の実現に向けて、第2期「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進する必要がある。

また、第2期総合戦略に掲げる数値目標の令和元年の現状は、「合計特殊出生率1.47」、「県外への転出超過数6,251人」など厳しい実態がある。

そのため、「若い世代を中心にひとの流れをつくる」、「結婚・妊娠・子育てなどの希望をかなえる」という、人口減少に係る課題解決に向けた「活力ある働く場づくり」、「未来を拓くひとづくり」、「希望がかなう少子化対策」、「魅力あふれる地域づくり」の4つの対策を基に、令和3年度に県として取り組むことが真に必要なものとする。

(3) その他社会経済情勢の変化への対応

(1)、(2)以外に、令和3年度に対応しなければ、県民の皆さんの命や暮らしに大きな影響を及ぼすもの、あるいは三重県が将来発展するための大きなチャンスを逃してしまう恐れのあるものなど、厳しい財政状況の中でも、県として取り組むことが真に必要なものに限る。

4. 提案方法について

(1) 要件

- 現状と課題、県民ニーズ等をふまえ、見込まれる成果・知見等を検証した上で構築する新たな取組又は既存の取組を改善したものであること。
- 「Society 5.0」又は「SDGs」の視点を取り入れたものであること。
- テーマ(2)は地方創生推進交付金の活用を前提として、連携*の枠組みにより提案することを基本とする。

*連携の考え方

(地方創生推進交付金制度要綱 2.1)の認定基準の要素より)

- ①自立性、②官民協働、③地域間連携、④政策間連携
- ①に加え、②～④の3つの連携要素のうち少なくとも2つの要素が含まれること。

(2) 留意事項等

- 事業構築にあたっては、他県との差別化を図る「三重県ならではの」や本県の持つ特性「三重県らしさ」を追求した取組となるよう検討すること。
- 重点取組だけでなく、ともに事業を進めていくことで相乗効果のある取組もあわせて提案すること。

(3) 対象部局

知事部局、教育委員会、警察本部を対象とする。

(4) 事業規模

○重点取組の財源は、現時点では昨年度と同程度の規模（3億円）を想定している（令和3年度当初予算フレームの状況等により、今後変更する可能性あり）。

○上限事業費（一般財源）は、部ごとに100,000千円とする。

ただし、地域連携部は（2局を含む）150,000千円、環境生活部及び雇用経済部は（局を含む）125,000千円とする。

また、事業1本あたりの事業費（一般財源）は1,000千円を下限とする。

○3の「テーマ（2）」については、連携を促進させるため、地方創生推進交付金を活用する場合に提案事業費（一般財源）の20%まで上乗せできることとする。

（例）○○部（一般財源上限100,000千円）

テーマ（1）の提案合計60,000千円

テーマ（2）の提案合計40,000千円→48,000千円（20%）まで上乗せ

108,000千円での提案が可能。

（理由）

- ・提案内容の質的向上や選択と集中に向けた検討を各部局に促すため。
- ・限られた時間の中で、提案内容について知事・副知事・危機管理統括監としてわかりとした議論ができるようにするため。

○令和2年度事業の見直し作業で捻出された削減額のうち、令和2年度当初予算の特定政策課題枠、県民参加型予算、一般経費、公共事業及び庁舎管理経費に該当する額（一般財源ベース）については、上記の提案上限額に加算できる措置を実施する（加算額については総務部から別途通知する予定）。

5. 選定方法について

「令和3年度三重県経営方針（案）」において、重点取組の内容を具体的に反映できるよう、昨年度と同様、予算フレームの議論と並行しつつ、秋の政策協議を通じて選定する。選定にあたっては、以下の視点に基づき判断する。

(1) 「必要性」

現状と課題の分析（事実と根拠を示す）、取組の必要性と見込まれる効果が具体的かつ的確に記載されているか。

(2) 「新規性」

新規の取組の場合は、どのような視点・手法等が新しいのか、既存の取組の場合は、どのような改善が図られているのかが具体的かつ的確に記載されているか。

(3) 「適時性」

令和3年度に重点化しなければ時期を逸するのか、あるいは県民の皆さんの暮らしに影響を及ぼすのかが具体的かつ的確に記載されているか。

(4) 「取組の進め方」

取組の進め方が妥当であるか、成果が見込まれる有効なものであるか、「Society 5.0」又は「SDGs」の視点を取り入れたものであるか。

※財政課の関与

- ・ 予算調整過程で取組の必要性等の議論が省略できるよう、企画課と各部局のヒアリングに財政課担当者も同席するなど情報を共有する。

6. 選定後の予算編成過程での取扱について

(1) 「選定」：予算要求できる。予算編成過程において、取組の必要性等はあらかじめ議論せず、国の新たな動向、社会経済情勢の急変等が生じない限り、原則「0」査定とならない。

「選定しない」：予算要求できない。

(2) 知事と部局長との協議の場（12月）で予算議論を行う。

協議後、引き続き精査・ブラッシュアップを要する事業は、知事査定（1月）にて再度議論する。

7. 今後のスケジュール

7月2日 部長級会議（提案募集開始）

7月上中旬 加算額通知（総務部）

8月11日 提案募集締切

9月上中旬 秋の政策協議

10月上旬 重点取組の結果通知

10月6日 全員協議会（経営方針（案））

※ 参考 過年度の状況（一財ベース）

	上限		提案時		予算要求時	
	本数	金額	本数	要求額	本数	要求額
平成29年度	無	無	45本	2,593,068千円	39本	368,745千円
平成30年度	無	有	75本	1,054,573千円	52本	322,603千円
令和元年度	有	有	70本	740,715千円	40本	315,610千円
令和2年度	無	有	73本	885,506千円	52本	436,098千円

担当部局	部
連携部局等	部、市町、団体等
部局内優先順位	順位/部局内提案数

事業概要

テーマの番号を記載する。

提案事業名	○○○事業（予算事業名を記載する） 【○○○事業】（テーマ（2）のみ。連携全体の提案事業名を転記する）			区分	○○
関係施策	（3桁番号）	（施策名）○○○○○○○○			
関係する主な基本事業	（5桁番号）	（基本事業名）○○○○○○○○			
根拠（法令等）	事業実施の根拠となる法令や条例、個別計画等を記載する				
概算事業費	年度	令和2年度①	令和3年度②	増減（②-①）	
	予算額	千円	千円	千円	
	県費	千円	千円	千円	
	国費等	千円 うち地方創生推進交付金	千円 うち地方創生推進交付金	千円 うち地方創生推進交付金	
	その他	千円	千円	千円	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の対象、働きかける対象、対象数などを具体的に記載する。 ・ 事業の対象、働きかける対象がどのような状態になることを狙っているのか、実現したい状態などを簡潔に記載する。 				
事業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業目的をふまえて令和3年度に達成すべき状態（定性目標）又は事業効果をあらわす定量目標を記載する。 ・ 県単独補助金が事務事業に含まれる場合は、県単独補助金に係る目標を記載すること（可能な限り定量目標とする）。 				
新規性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規の取組の場合は、どのような視点・手法等が新しいのか、既存の取組の場合は、どのような改善が図られているのかが分かるように記載する。 				
事業の必要性と期待される効果	<p>【現状と課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この取組を提案する背景となった現状認識と課題について、事実（ファクト）と根拠（エビデンス）に基づき記載する。 <p>【令和3年度の取組の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記をふまえ、令和3年度の取組の必要性を記載する。 				

	<p>【効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数年内にどのような成果（エビデンスも含め）が見込まれるのか、同一の目的に資する関連事業（既存事業も含む）と一体的に進めていくことで得られる相乗効果について記載する。
適時性	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、令和3年度に重点化しなければ時期を逸するのか、あるいは県民の皆さんの暮らしに影響を及ぼすのか等を記載する。

取組詳細

取組概要	<p>事業全体の概要がわかるよう、簡潔に記載する（どういった主体が事業を実施し、県の役割はどういったものがわかるように、3～5行程度）。</p>
取組内容等	

- (1) ○○○事業（○○ 「新規」又は「一部新規」を記載）
千円（県費 千円、国費等 千円（うち地方創生推進交付金 千円）、その他 千円）
○○○に取り組みます。（働きかける対象とその対象数などを具体的に記載する。「連携する」、「支援する」ではなく、「何を行うか」を記載する。）
- (2) ○○○事業（○○ 「新規」又は「一部新規」を記載）
千円（県費 千円、国費等 千円（うち地方創生推進交付金 千円）、その他 千円）

【Society5.0の視点】

- ・視点○：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○します。
- (例)
- ・視点①「イノベーション」による新たな価値の創出と課題解決
先端技術を活用した農作業の自動化を進めることで、生産性向上につなげます。

【SDGsの視点】

- ・視点②：全てのステークホルダーが役割を担う（参画型）
○○○します。
 - ・視点○：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○します。
- (例)
- ・視点③統合性
観光事業者、学校現場、地域と連携した以下の取組を推進することにより、持続可能な観光業の促進と、人と自然との共生の両立を進めます。

令和3年度 重点取組提案（連携の枠組み）

提案の主担当部局（担当部局）が作成し、必ず添付してください。

<連携の枠組み>

<p>提案事業名： ・連携全体の取組事業名を記載する。</p> <p>【主担当部局： 】</p> <p>第2期「三重県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4つの対策</p> <p><input type="checkbox"/> 活力ある働く場づくり <input type="checkbox"/> 未来を拓くひとづくり <input type="checkbox"/> 希望がかなう少子化対策 <input type="checkbox"/> 魅力あふれる地域づくり</p> <p>・どの対策に資するかチェック（複数可）</p>	<p>目的 ①</p>	<p>●●●●●●●●事業 (担当部局：)</p> <p>▲▲▲▲▲▲▲▲事業 (担当部局：)</p>
<p>【目的】</p> <p>目的① ・連携事業の取組が、どのような状態になることを狙っているのか、実現したい状態などを簡潔に記載する。 ・<u>テーマ（人口減少）との関係性（テーマにどう資する取組か）</u>を簡潔に記載する。</p> <p>目的②</p> <p>目的③</p>	<p>目的 ②</p>	<p>××××××××事業 (担当部局：)</p> <p>■●●●●●●●事業 (担当部局：)</p>
	<p>目的 ③</p>	<p>◇◇◇◇◇◇◇◇事業 (担当部局：)</p> <p>○○○○○○○○事業 (担当部局：)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>連携する市町、他県等の取組</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>連携する民間（○○○）等の取組</p> </div>

官民協働、地域間連携の取組の場合

枠などは必要に応じて削除する。

<連携の内容>

***主担当部局が全体の取組(連携を含め)を記載する。**

取組概要 (全体)	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 目標達成をめざし、連携事業全体の取組概要がわかるよう、簡潔に記載する。 <p>注1：連携の枠組みについて、それぞれの事業主体の役割や、今後の展開の方向性を記載する（可能な限り令和4年度以降についても記載）。</p> <p>注2：それぞれの必要性と効果について具体的に記載する。</p>
--------------	---